

(2020年度)

4 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は21ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，試験監督者から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能を使用してはならない。また，スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけたりしてはならない。また，マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 中国古代史に関する以下の問(1～22)に答えなさい。解答は、問4, 5, 10, 20は選択肢(a～d)から、その他の問は選択肢(a～e)から、最も適切なものを1つ選びなさい。

問1 前5千年紀に成立した仰韶文化に見られる特徴的なものは何か。

- a 灰陶
- b 黒陶
- c 彩文土器(彩陶)
- d 三足土器
- e 青磁

問2 仰韶文化とほぼ同時期のものとされる河姆渡遺跡はどこにあるか。

- a 河南省
- b 湖南省
- c 山東省
- d 浙江省
- e 陝西省

問3 前3000年以降形成された、祭祀と軍事を重視する氏族社会からなる集落や都市を何というか。

- a 郡
- b 県
- c 州
- d 省
- e 邑

問4 殷(商)に関する次の文A, Bの正誤を判断し、その正しい組み合わせを選びなさい。

A 殷で発達した青銅器は、祭祀や武器、さらに農具としても使われた。

B 現在のところ、実在が確認されている中国最古の王朝である。

- a A—正 B—正
- b A—正 B—誤
- c A—誤 B—正
- d A—誤 B—誤

問5 周に関する次の文A, Bの正誤を判断し、その正しい組み合わせを選びなさい。

A 前半は西周、後半は東周と呼ばれ、西周の都は洛邑であった。

B 政治制度では、血縁関係を重視した封建制度を基礎とした。

- a A—正 B—正
- b A—正 B—誤
- c A—誤 B—正
- d A—誤 B—誤

問6 周の王室は存在したが実際には群雄割拠であった時代を、春秋・戦国時代という。春秋という言葉はある国の年代記から来ている。その国はどれか。

- a 晋 b 齊 c 楚 d 宋 e 魯

問7 春秋時代よりさらに周王室を無視して各地で下剋上の風潮が広まった戦国時代には、戦国の七雄が台頭した。その七雄に含まれないものはどれか。

- a 燕 b 韓 c 魏 d 呉 e 趙

問8 春秋・戦国時代には社会経済状況も変化した。この時代の現象と言えないものはどれか。

- a 圃田の発生 b 牛耕 c 耕地の拡大
d 青銅貨幣の使用 e 鉄製農具の普及

問9 春秋・戦国時代には新しい秩序を求めて多様な思想が誕生した。これを「諸子百家」という。学派とその思想家との組み合わせで誤っているものはどれか。

- a 縦横家—蘇秦 b 儒家—孟子 c 道家—莊子
d 兵家—孫子(孫武) e 法家—荀子

問10 春秋・戦国時代を経て中国を統一した秦は、国力増強のために積極的に思想家を登用して国内改革を進めていた。秦に登用されなかった思想家は誰か。

- a 屈原 b 商鞅 c 張儀 d 李斯

問11 秦は政治・経済・社会制度で多くの統一政策を行った。その説明として誤っているものはどれか。

- a 中央集権的な地方統治制度である郡国制を全国に施行した。
- b 匈奴の侵入を防ぐために、長城を修復・拡張した。
- c 円形で真ん中に四角い穴のある貨幣(半両銭)を統一通貨とした。
- d 南方遠征をおこない、南海郡など3郡を設置した。
- e 文字(小篆)を統一した。

問12 急激な統一政策や多くの対外政策を行った秦の国内では反発も大きく、始皇帝の死後に反乱がおこり、秦は中国統一後わずか15年で滅んだ。秦末期の反乱はどれか。

- a 黄巾の乱 b 紅巾の乱 c 呉楚七国の乱 d 赤眉の乱
- e 陳勝・呉広の乱

問13 秦滅亡後の混乱を制して天下を統一し、漢を建国した人物は誰か。

- a 劉永福 b 劉秀 c 劉備 d 劉裕 e 劉邦

問14 漢は前漢と後漢に分かれ、その間に別の国が建てられた。前漢を終焉させた人物は誰か。

- a 安祿山 b 王莽 c 項羽 d 曹丕 e 孫権

問15 前漢から後漢にかけて遷都が行われた。その正しい組み合わせはどれか。

- a 長安→洛陽 b 洛邑→咸陽 c 鎬京→咸陽 d 洛陽→長安
- e 鎬京→長安

問16 前漢の武帝が北方民族対策として、西域に派遣した人物は誰か。

- a 甘英 b 張角 c 張騫 d 張陵 e 班超

問17 前漢の武帝は衛氏朝鮮を滅ぼして朝鮮4郡を設置した。その中心である楽浪郡は、現在のどのあたりにあったか。

- a 慶州 b 光州 c ソウル d 釜山 e 平壤

問18 前漢の武帝が財政再建のために行った政策とは言えないものはどれか。

- a 均輸による国庫収入の増大 b 五銖銭の鑄造
c 塩・鉄・酒の専売 d 租調庸の税制 e 平準による物価の安定

問19 後漢に行われた、知識人・官僚への弾圧・抑圧政策を何というか。

- a 科挙の一時停止 b 党錮の禁 c 焚書・坑儒
d 猛安・謀克 e 文字の獄

問20 前漢に行われた官吏登用法は何か。

- a 九品中正 b 郷挙里選 c 省試 d 殿試

問21 漢以降、儒学は中国の皇帝制度を支える政治思想になったが、そうすることを進言した前漢の儒学者は誰か。

- a 韓愈 b 孔穎達 c 寇謙之 d 鄭玄 e 董仲舒

問22 前漢に成立した『史記』に関連する以下の文で誤っているものはどれか。

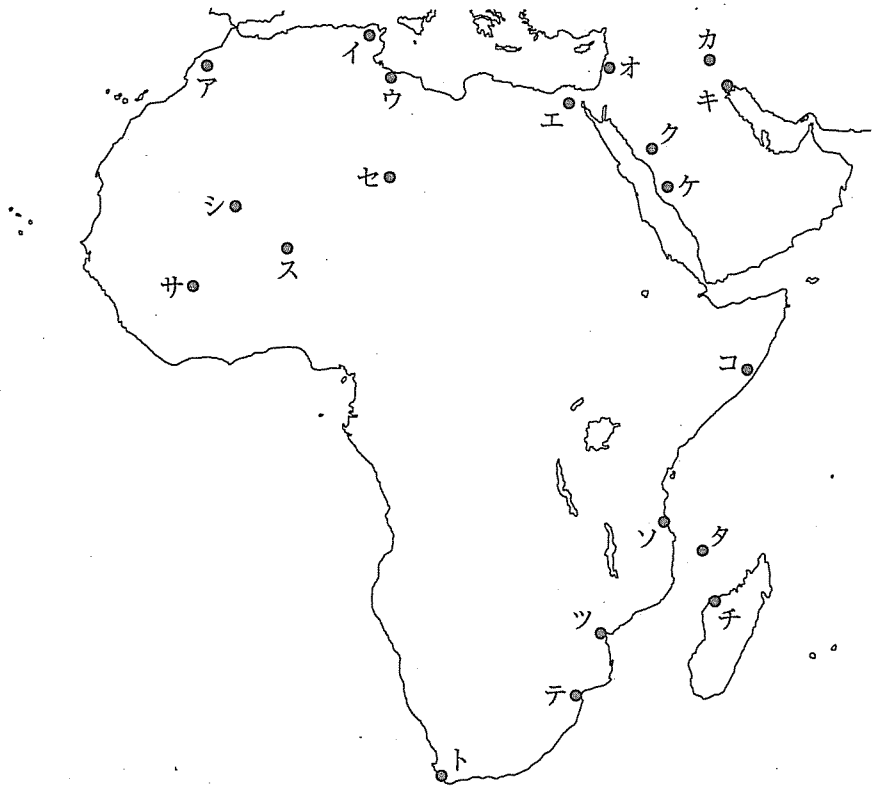
- a 『史記』は、太古から漢の高祖までの歴史がまとめられている。
b 『史記』の著者は、北方民族の捕虜となった李陵をかばったため、宮刑に処せられた。
c 『史記』は、帝王の年代史と帝王以外の人物史などからなる紀伝体という形式をとった。
d 班固の書いた『漢書』も紀伝体を使っている。
e 『史記』と異なる形式である編年体で書かれたものに、『春秋』がある。

2 次の文章を読んで以下の問(1～17)に答えなさい。解答は問2, 13, 17は選択肢(a～g)から, その他の問は選択肢(a～d)から, 最も適切なものを1つ選びなさい。

6世紀後半, (1)と(2)の対立が激化し, 主要な東西交易路が途絶えたためにアラビア半島を経由した通商路が発達した。この通商路の拠点の一つであるメッカに生まれた商人であるムハンマドは, 7世紀初頭にアッラーの啓示を受け, 自らを預言者と自覚した。彼が創始した「神への絶対的帰依」を意味する宗教がイスラームである。ムハンマドの死後の正統カリフ時代に, イスラーム勢力は(2)からシリアやエジプトを奪い, また642年のニハーヴァンドの戦いに勝利して(1)を滅ぼして大帝国を築いた。その後, 多くのイスラーム諸王朝が展開しイスラーム世界の拡大に寄与した。また, イスラームの世界的拡大には, 通商関係が果たした役割も大きい。

アフリカ北部では, エジプトを拠点にエジプト以西の地中海沿岸の地域にイスラームが広がり, さらに内陸部にも拡大した。北部のムスリム商人は西アフリカのガーナ王国の金と(3)を交換した。(4)の攻撃によりガーナ王国が衰退すると, 西アフリカのイスラーム化が促された。13～15世紀に西アフリカ内陸部で栄えたマリ王国の王もイスラームを信仰し, 多くの従者を引き連れてメッカ巡礼を行った。マリ王国の後, ソンガイ王国が栄えた。

アフリカ東部では1世紀から紅海沿岸部とインド西岸でモンスーンを利用した航海術によりアラビア半島, インドとの交易がおこなわれた。のちに航海ルートが拡大し, アフリカ東部のインド洋沿岸部もインド洋交易に組み込まれた。インド洋交易ではムスリム商人が主要な役割を果たしたが, 彼らは商業に従事するだけでなく, イスラームや文化も伝えた。インド洋沿岸部の交易都市ではその影響を受けたスワヒリ文化が開いた。



問1 空欄(1~4)に入る語句はどれか。

1. a セレウコス朝 b セルジューク朝 c ガズナ朝
d ササン朝
2. a オスマン帝国 b ビサンツ帝国 c ラテン帝国
d ブルガリア帝国
3. a 岩塩 b 干し魚 c 木材 d トウモロコシ
4. a ムワッヒド朝 b イル=ハン国 c カラハン朝
d ムラービト朝

問2 下線部(A)の地図上の位置はどれか。

- a エ b オ c カ d キ e ク f ケ g コ

問3 下線部(B)に関する説明として誤っているものはどれか。

- a ムスリムの共同体であるウンマはメディナでムハンマドを長として最初に設立された。
- b ムハンマドはクライシュ族のハーシム家出身である。
- c ムハンマドの義父で初代後継者として選出されたのはウスマーンである。
- d ムハンマドの後継者であり、ウンマの代表者をカリフと呼ぶ。

問4 下線部(C)に関する説明として誤っているものはどれか。

- a ムハンマドの死後、イスラームの聖典コーランは650年頃までに編纂された。
- b 六信五行とはムスリムが信者として信仰し、おこなうべきことの基本である。五行は、信仰告白、礼拝、喜捨、断食、メッカ巡礼である。
- c シーア派は、ムスリムの約9割を占める主流派である。
- d イスラーム暦はムハンマドがメッカからメディナへ移住した西暦622年7月16日を紀元元年1月1日とする。

問5 下線部(D)に関する説明として誤っているものはどれか。

- a ウマイヤ朝は第4代カリフのアリーと対立していたムアーウィヤによって開かれた。
- b ウマイヤ朝はイベリア半島に進出して西ゴート王国を滅ぼした。
- c アッバース朝はムハンマドの叔父アル=アッバースの子孫をカリフとして戴き、7世紀に成立した王朝である。
- d サラディン(サラーフ=アッディーン)によってカイロを都に建てられたアイユーブ朝は、十字軍と攻防を繰り返し、1187年にエルサレムを回復した。

問6 下線部(E)に関して、ダウ船などを用いて中東、アフリカ、アジアをつないだ貿易ルートを何というか。

- a 「オアシスの道」
- b 「海の道」
- c シルクロード
- d 「王の道」

問7 イスラーム世界を広く旅したイブン=バットゥータが訪問した都市の組み合わせで誤っているものはどれか。

- a サライ・バグダード・トンブクトゥ
- b グラナダ・カイロ・モンバサ
- c デリー・コンスタンティノーブル・キルワ
- d マリ・カーブル・カノ

問8 イブン=バットゥータに関する説明で誤っているものはどれか。

- a モロッコのタンジール生まれの旅行家・知識人である。
- b 『世界史序説』は彼の旅行を中心とした口述の記録である。
- c タンジールを出発したのは1325年である。
- d 彼がカイロを訪問した時に当地を治めていたのはマムルーク朝である。

問9 イスラームはエジプトからナイル川をさかのぼる形でも伝播したが、北東アフリカにおいてイスラームの伝来より先にキリスト教が信仰されていた地域は次のうちどこか。

- a カネム=ボルヌー王国 b アシャンティ王国
- c ハウサ諸国 d アクスム王国

問10 下線部(F)にあるアフリカ北部の地域を何と呼ぶか。

- a アウダゴスト b マグリブ c マシユリク d マラッカ

問11 下線部(F)について、特にモロッコやアルジェリアの先住民でムラービト朝、ムワッヒド朝を建てたのはどれか。

- a クルド人 b ユダヤ人 c ベルベル人 d トルコ人

問12 下線部(G)の王は誰か。

- a ラシード=アッディーン b ニザーム=アルムルク
- c マンサ=ムーサ d ウマル=ハイヤーム

問13 下線部(G)の交易都市として栄えたトンプクトゥは地図のどこに位置するか。

- a ア b イ c ウ d サ e シ f ス g セ

問14 下線部(H)に関する説明で誤っているものはどれか。

- a ニジェール川流域を支配したソンガイ人によって建国された。
b アスキア＝ムハンマドの治世に最盛期を迎えイスラーム文化が栄えた。
c 西アフリカではソンガイ王国の後、モノモタパ王国が栄えた。
d 大航海時代の幕開けと共にアフリカ大陸内の交易路の変化が衰退の原因の一つとなった。

問15 下線部(I)とアフリカの関係に関する説明で誤っているものはどれか。

- a アフリカからは象牙、亀甲、真珠、スパイスなどが主要輸出品となった。
b 交易拠点であったマリンディヤモガディシュには鄭和の艦隊が訪れた。
c スワヒリ語はインド洋交易を通じて形成され、商業言語として東アフリカに広がった。
d インド洋交易では奴隷の取引も行われた。

問16 インド洋交易で栄えたキルワは、大航海時代にインド洋にヨーロッパ勢力が進出した直後に艦隊の攻撃を受けて壊滅した。キルワを制圧したのはどこの国か。

- a スペイン b オランダ c イギリス d ポルトガル

問17 地図上でキルワが位置するのはどこか。

- a コ b ソ c タ d チ e ツ f テ g ト

- 3 次の文章を読んで後の問(1～11)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)から、最も適切なものを1つ選びなさい。

今日「メキシコ」と呼ばれている地域には、先史時代には陸地であった現在のベーリング海峡を通過してやってきたモンゴロイド系の人々が長く暮らし、独自の文明を築いていた。なかでも(A)人は、強大な軍勢力を背景に近隣の諸民族を征服し、被征服民に貢納させることで(B)を都に豊かな王国を築いた。なお、彼らの自称名であった「メシーカ」は「メキシコ」という国名の語源となった。しかし彼らの生活は、ヨーロッパ人がやってくると大きな変化を余儀なくされた。スペイン人の(C)は1519年、僅かな数の軍勢とともに(A)王国に至ったが、(A)人の征服を受けていた周辺の民族の中には(C)側に加勢するものもあり、2年後の1521年、(C)は(B)を占領し、ここにスペインによるメキシコ支配が始まったのである。

ここで注意しなければならないことは、スペイン人たちは自分たちが新たに「発見」した土地について、それがどのくらい広がっているのか、そこには誰が住んでいるのか、どのような地形や気候を有しているのかなど何もわからないまま征服を続けていったことである。スペイン国王は、征服者(コンキスタドール)たちにその新たな領土の管理を委ねることとなった。こうして始まったのが(D)制である。これは、コンキスタドールらに一定の範囲の土地の管理ならびにそこに住む先住民の保護とカトリックへの改宗を委託し、受託者はその見返りにその領域の先住民に労役を課す権利を国王から得るというものであった。しかしながらコンキスタドールらは、国土回復運動(レコンキスタ)以来の伝統もあり、割り当てられた(D)をあたかもそれが恩賞地であるかのように捉え、しばしばその住民を不当に扱った。そのような事態を国王に告発したのがラス＝カサスである。

時代が下るにつれて、新大陸がどのような所であるのかが次第に明らかになり、また銀をはじめとする豊かな資源があることがわかってくると、スペイン国王も(D)を廃し、官吏をスペイン本国から派遣するなど直接的な統治に乗り出すようになる。こうした中央集権的な動きは、特に1700年にスペイン・ハプス

ブルク家が断絶し、スペイン継承戦争を経て王朝がブルボン家に移るとさらに激しくなったが、このことは支配層人口の圧倒的多数を占めるに至っていた新大陸生まれのスペイン人、すなわち(E)の大きな不満を呼び起こし、18世紀末ごろから現在のラテンアメリカ各地で独立運動が沸き起こっていく遠因となっていた。

メキシコの独立は、他のラテンアメリカ諸国のそれとは少々異なる道をたどった。1810年9月、カトリックの在俗司祭であった(F)が自身の教区で武装蜂起したのが独立運動の始まりであった。しかし、この運動が翌11年に鎮圧されると、独立運動は長く低迷したが、スペイン本国での政治的変化が1821年に達成された政治的独立に大きな作用を及ぼしたのである。

スペインは1808年、フランス軍の侵攻を受け、ナポレオンに服属することになったが、スペインの住民の多くはナポレオンの兄をスペイン王としては認めず、各地で自治運動が盛んになった。その過程で1812年に反フランス勢力の議会が置かれていたカデイスで憲法(カデイス憲法)が制定され、スペインは立憲君主国となったが、国王フェルナンド7世は1814年に復位すると絶対王政を復活させた。その後、1820年に立憲革命が起こるとカデイス憲法が復活し、スペインは再び立憲君主制となったが、こうした本国の混乱を嫌った植民地保守層が、細々と独立運動を継続していた反乱軍と結び、ここにメキシコの政治的独立は達成されたのであった。ラテンアメリカ諸国のほとんどが共和国として独立したのをよそに、メキシコでは帝政が選択された。

独立後のメキシコは混乱を極めた。政治体制は、早くも1824年には連邦共和国に置き換わった。1836年には北部で分離運動が起き、(G)が共和国として独立したが、(G)がアメリカ合衆国に編入されたのを契機にメキシコはアメリカ合衆国との戦争に突入、1848年に敗北すると国土の52%の割譲を余儀なくされた。さらに、1857年に始まった自由主義派と保守派の内戦に乘じ、債務問題を口実にフランスが武力でメキシコを占領すると、実権を自由主義派から奪って(H)を帝位に就け、1864年、第二帝政を発足させた。

しかし、一貫して自由主義派を支持してきたアメリカ合衆国が南北戦争を終結させると、武器・弾薬をはじめさまざまな支援が自由主義派に与えられた。ま

た、プロイセンがフランスに軍事的圧力を強めると、ナポレオン3世^(ロ)は本国防衛を強化するために(H)に貸し与えていたフランス軍の撤収を命じた。これら2つのことにより、一時は北部国境にまで追い詰められていた自由主義派は息を吹き返し、ついに1867年、保守派勢力を撃破、(H)が処刑されて第二帝政は潰えた。外国勢力を押しやって実権を握り返したことから、その後は自由主義派が政治権力を確立することとなった。

問1 空欄(A~H)に入る語はどれか。

- A a アステカ b オルメカ c ケチュア d チチメカ
e マヤ
- B a チャビン=デ=ワントル b テオティワカン
c テノチティトラン d トウーラ e マチュ=ピチュ
- C a カブラル b コルテス c トスカネリ d バルボア
e ピサロ
- D a アシエンダ b アシエント c エンコミエンダ
d プランテーション e ラティフンディウム
- E a カウディーリョ b クリオーリョ c ペニンスラール
d ムラート e メステイーン
- F a イダルゴ b カルデナス c サン=マルティン
d シモン=ボリバル e ペドロ
- G a オレゴン b カリフォルニア c テキサス
d ニューメキシコ e ユタ
- H a アレクサンドル b ヴィルヘルム c ジョゼフ
d フランツ=ヨーゼフ e マクシミリアン

問2 下線部(ア)について、メキシコ征服が始まったころのスペイン国王は誰か。

以下のA群・B群からそれぞれ1つを選び、組み合わせて答えなさい。

A群 a イサベル b フェルナンド c カルロス

d フェリペ e アルフォンソ

B群 a 1世 b 2世 c 3世 d 4世 e 5世

問3 下線部(イ)の説明として誤っているものはどれか。

- a イベリア半島に最初に進出したイスラーム勢力は、ムワッヒド朝である。
- b 国土回復運動を完了させたグラナダ王国陥落は、1492年の出来事であった。
- c 国土回復運動の別称である「レコンキスタ」は「再征服」を意味する。
- d イベリア半島における最後のイスラーム王朝は、ナスル朝である。
- e 国土回復運動を完了させたのは、イサベルとフェルナンドの両王である。

問4 下線部(ウ)の説明として誤っているものはどれか。

- a ラス＝カサスが生まれたのは、ポルトガルの「航海王子」エンリケが没した後のことである。
- b ラス＝カサスは、イエズス会修道士であった。
- c ラス＝カサスも(D)を所有していたが、自身の主張に照らし、それを放棄した。
- d 先住民の惨状を告発する『インディアスの破壊に関する簡潔な報告書』を著した。
- e 現在のボリビアでポトシ銀山が発見されたのは、ラス＝カサス存命中のことであった。

問5 下線部(エ)について、スペイン・ハプスブルク家最後の国王は誰か。問2の

A群・B群からそれぞれ1つを選び、組み合わせて答えなさい。

問6 下線部(オ)の説明として誤っているものはどれか。

- a フランス王ルイ14世が孫のフェリペ5世をスペイン王位につけることができたのは、ピレネー条約によりスペイン王女を自らの妃としたことが一因である。
- b フェリペ5世がスペイン王位を継承することを認められたのは、ともにブルボン王朝となったフランスとスペインが将来的に合併しないことを条件とするものであった。
- c ハプスブルク家のオーストリアはイギリスなどと結び、成功裡にフランス・スペイン連合軍との戦闘に勝利した。
- d 講和条約であるユトレヒト条約の結果、ケベックがフランスからイギリスに割譲された。
- e フランス王が神聖ローマ皇帝と和平を結んだのは、ラシュタット条約であった。

問7 下線部(カ)について、ゴヤの絵画「1808年5月3日」は有名であるが、下に示すヨーロッパの芸術家の中で、ゴヤとは活躍の時期を異にするのは誰か。

- a ゲーテ b ダヴィド c チャイコフスキー
- d バイロン e ベートーヴェン

問8 下線部(キ)について、ラテンアメリカ諸国でメキシコ以外に帝国として独立した国はどれか。

- a アルゼンチン b コロンビア c ブラジル d ペルー
- e ボリビア

問9 下線部(ク)について、この当時の自由主義派の指導者は誰か。

- a サパタ b ディアス c ビリャ d ファレス
- e マデロ

問10 下線部(ケ)の説明として誤っているものはどれか。

- a 商工業が発達した北部と奴隷労働に依存した綿花生産が盛んであった南部との戦いであった。
- b 戦争の当初は南部が優勢であったが、次第に工業を軸とした経済力に勝る北部が逆転した。
- c 奴隷制の是非をめぐる対立が注目されるが、工業部門を関税により保護したいとする北部と主に欧州への農産物輸出のために自由貿易を主張する南部との対立も顕著であった。
- d 奴隷制に反対する民主党と奴隷制存続を主張する共和党との対立でもあった。
- e 奴隷解放宣言は、第16代合衆国大統領であったリンカンが1863年1月1日に発表した。

問11 下線部(コ)の説明として誤っているものはどれか。

- a クリミア戦争では、オスマン帝国を支援してロシアと戦った。
- b アロー戦争では、イギリスと連合して清と戦った。
- c スペインと共同してインドシナに出兵した。
- d イタリア統一戦争では、当初、サルデーニャを支援してオーストリアと戦った。
- e プロイセン＝フランス戦争では、アルザス・ロレーヌ地方を獲得した。

4 第一次世界大戦前後に関する次の文章(A～C)を読んで、後の問(1～3)に答えなさい。

(A) サライエヴォでのオーストリア皇族暗殺事件を発端に勃発した第一次世界大戦は、^(あ)参戦国の規模が徐々に拡大し、初の世界戦争となった。列強の参戦国は⁽²⁾アフリカの植民地などヨーロッパ外からも兵士を動員したが、このことが後の⁽³⁾各植民地の独立運動につながっていく。第一次世界大戦の最大の特徴とされる⁽⁴⁾

のが、戦争の長期化と総力戦体制である。長期戦の遠因は、新しい動力源や技術の発明から始まった第2次産業革命であった。これにより発達した重化学工業がヨーロッパ各国の戦闘継続能力を飛躍的に高め、戦争を長引かせたのである。一方、総力戦体制をとった国々は、軍需産業など従来男性が占めていた領域に銃後の女性を動員していった。このことは戦後、女性の社会進出につながっていく。

(B) オスマン帝国では、(ア)治世下で進められたタンジマートが、後の自由主義運動につながる一方で、急激な変化による混乱も招き、ムスリム知識人や民衆の間に強い不満をもたらした。また、(イ)戦争では英仏の支援を受けロシアの進出を食い止めたものの、列強に借款を重ねて国庫が枯渇した。帝国のこうした内政不安と財政破綻とが、第一次世界大戦終結後の帝国崩壊の布石となっていく。

(C) 第一次世界大戦後に発足した国際連盟は、(ウ)の非加盟もあり実効性に乏しかった。そこで当面の平和維持活動は、列強の外交レベルで進められた。フランスの外相(エ)は、アメリカの国务長官(オ)に戦争の違法化を提案し、不戦条約でこれを具体化させた。(オ)は、不戦条約を2国間条約から多国間条約のレベルに押し上げ、15カ国(のち63カ国)による調印を実現させた。2国間外交のなかでは、とりわけ(エ)と(カ)の協働から、ロカルノ条約や独仏間の関係改善という成果が生まれた。(カ)は1923年以降首相と外相を歴任し、経済と外交の両分野でのドイツの安定化に貢献した。(エ)(オ)(カ)らの活動は、ウィルソン・(キ)ら米英仏首脳主導で敷かれたヴェルサイユ体制を部分的に修正するもので、国際協調主義と呼ばれる。

問1 空欄(ア～キ)に入る最も適切な語はどれか。

- (ア) a ミドハト＝パシャ b アブデュルメジト1世
c アブデュルハミト2世 d ムスタファ＝レシト＝パシャ
- (イ) a アロー b 第1次バルカン c クリミア d シク
- (ウ) a アメリカ b フランス c イギリス d 日本

- (エ) a ブルム b ブリアン c ポワンカレ d クレマンソー
- (オ) a フーヴァー b クーリッジ c ケロッグ
d マーシャル
- (カ) a ベルンシュタイン b ヒンデンブルク
c エーベルト d シュトレーゼマン
- (キ) a ロイド＝ジョージ b ローズ
c チェンバレン d マクドナルド

問2 下線部(1～13)に関する問いに答えなさい。

(1)に関する次の文A、Bの正誤を判断し、その正しい組み合わせを選びなさい。

A パン＝スラヴ主義の中心勢力であるセルビアの青年による犯行であった。

B 犯人はオーストリアのボスニア・ヘルツェゴヴィナ併合を不服としていた。

- a A—正 B—正 b A—正 B—誤 c A—誤 B—正
d A—誤 B—誤

(2)に関して、参戦の順番が正しいのはどれか。

- a ロシア—イタリア—オスマン帝国—アメリカ
b ロシア—オスマン帝国—イタリア—アメリカ
c オスマン帝国—ロシア—アメリカ—イタリア
d イタリア—オスマン帝国—アメリカ—ロシア

(3)に関して、フランスの植民地でないものをすべて挙げよ。

- a アルジェリア b リベリア c リビア d ナイジェリア

(4)に関して、インドの動きを時系列に並べて2番目に来るのはどれか。

- a イギリスのインド相モンタギューがインドに漸進的な自治を約束した。
- b インド統治法により、州の行政権の一部がインド人に移管された。
- c 令状なしの逮捕を可能にするローラット法が発布された。
- d インドの知識人や地主を中心とする国民会議派が発足した。

(5)に関する次の文A、Bの正誤を判断し、その正しい組み合わせを選びなさい。

- A クレマンソー内閣などがとった挙国一致体制が有名である。
 - B 貿易を断たれたイギリスやドイツでは、とくに厳しい統制経済が行われた。
- a A—正 B—正 b A—正 B—誤 c A—誤 B—正
 - d A—誤 B—誤

(6)に関する出来事を時系列に並べて2番目に来るのはどれか。

- a ジーメンスが発電機を発明した。
- b 電力・石油を動力源とする重化学工業が盛んになった。
- c モース(モールス)が世界初の電信機とモールス信号を考案した。
- d 電磁誘導に関する「ファラデーの法則」が発見された。

(7)に関連して、第一次世界大戦で導入されていない武器を1つ選びなさい。

- a 戦車 b 毒ガス c 戦闘機 d 焼夷弾

(8)に関する次の文A、Bの正誤を判断し、その正しい組み合わせを選びなさい。

- A 帝国臣民に対し、法の下での平等や生命・財産の保障を約束した。
 - B ギュルハネ勅令によって改革の多くが反故にされた。
- a A—正 B—正 b A—正 B—誤 c A—誤 B—正
 - d A—誤 B—誤

(9)に関連する叙述として誤っているものを1つ選びなさい。

- a イギリスが、オスマン帝国への反乱を条件にアラブ国家の独立を認める協定をメッカの太守フセイン(フサイン)と結んだ。
- b 英仏伊間でオスマン帝国領の扱いを定めたサイクス・ピコ協定が結ばれた。
- c 戦後のユダヤ人の「民族的郷土」建設を支持するバルフォア宣言が発表された。
- d サイクス・ピコ協定やフセイン(フサイン)・マクマホン協定は秘密条約であった。

(10)に関する次の文A、Bの正誤を判断し、その正しい組み合わせを選びなさい。

- A オランダのハーグに常設国際司法裁判所を設置した。
 - B 労働者保護を目的とする国際労働機関(ILO)を設置した。
- a A—正 B—正 b A—正 B—誤 c A—誤 B—正
d A—誤 B—誤

(11)に関する出来事を時系列に並べて2番目に来るのはどれか。

- a 補助艦の制限を検討するジュネーヴ軍縮会議が開かれた。
- b 米英日の補助艦の保有比率を定めたロンドン会議が開かれた。
- c ヨーロッパの集団安全保障体制を定めたロカルノ条約が締結された。
- d 中国の主権と独立の尊重などを定めた九カ国条約が締結された。

(12)に関する出来事を時系列に並べて2番目に来るのはどれか。

- a ヨーロッパの集団安全保障体制を定めたロカルノ条約が締結された。
- b ドイツの賠償支払いの緩和を提案するドーズ案が採択された。
- c 破壊的インフレーション收拾のため Rentenmark が発行された。
- d ドイツが国際連盟に加入した。

(13)に関連する叙述として誤っているものを1つ選びなさい。

- a パリ講和会議で決定した、大戦後ヨーロッパの新国際秩序のことである。
- b ウィルソンの提案した国際連盟の設置もヴェルサイユ条約で決まった。
- c 旧オスマン帝国内では、シリアがフランスの、イラク等がイギリスの委任統治下におかれた。
- d ドイツに軍備制限と巨額の賠償、ルール地方のフランス返還などを科した。

問3 下線部(あ, い)に関する問いに答えなさい。

(あ)の場所を地図の選択肢(a～j)から1つ選びなさい。

(い)の場所を地図の選択肢(a～j)から1つ選びなさい。

